

おひろめ会結果報告

おひろめ会概要

(1)開催趣旨

- 利活用の初期から地域住民との関係性を構築する。
- 関係者を集めるための実証実験とする。
- 効果検証し、利活用の検討に反映させる。
- 産官学(地元事業者、町、東洋大学)連携のイベントを試みる

(2)開催日時

令和5年11月12日(日)10:00~12:00

(3)来場者数

85人(大人74人、子ども11人)

イベント内容

『地域から愛される憩いの場』

コンセプト	企画
遊び	竹モルック
	かなな削り体験
	ポスターデザイナー
恵み	焼き芋
	甘酒の試飲
学び	3Dまちあるき
	地域の魅力探索
その他	フリースペース
	リラックスルーム

川島町 主催!

かわじま 古民家 おひるめ会

築90年の 古民家
地域から愛される
憩いの場へ

11月12日 日 10:00 ~12:00
参加費：無料
場所：川島町大字下伊草105番地1 (旧菅間邸)

遊び 恵み 学び

- ✓ 竹モルック
- ✓ 焼き芋
- ✓ 3Dまちあるき
- ✓ かなな削り体験
- ✓ 甘酒の試飲
- ✓ 地域の魅力探索
- ✓ ポスターデザイナー

石野谷七菜
川島町政務推進課 TEL: 049-299-1752

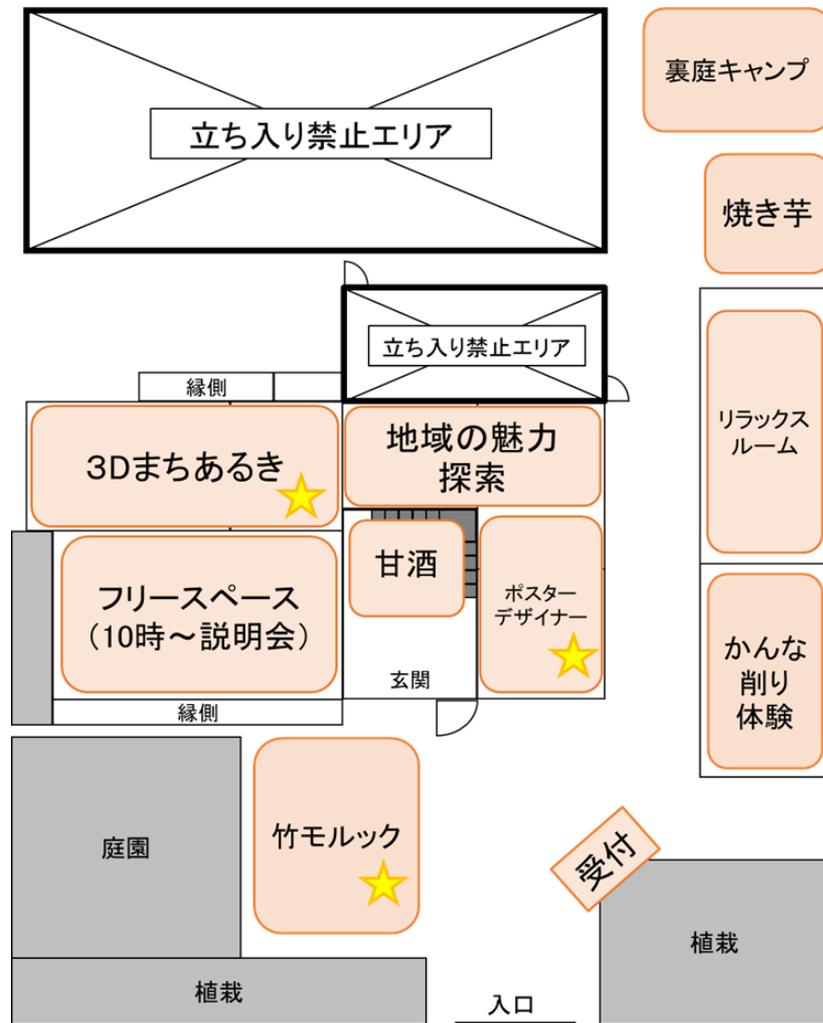
協力：北洋大学、古民家活用振興委員会

イベント風景

「遊び」: 竹モルック、かな削り体験



★: スタンプラリー



「恵み」：焼き芋、甘酒の試飲



「学び」：3Dまちあるき、地域の魅力探索



アンケート結果

回答者数: 43人

アンケート結果抜粋

●おひろめ会の中で良いと感じた点

- ・昔の生活空間を体験し、未来の空間の在り方を検討することはとても良い取り組みであり、川島町の良さをアピールできる場であると感じた
- ・空き家の有効活用を含めて、住民の立ち場で考えることができた
- ・どんな想いで取り組まれているか話が聞けて良かった
- ・今後も町と東洋大学の力をお借りして町の活性化が図れたらいいと思う
- ・空き家が増えていく中、将来的にコミュニティ場所があると良いと思った

アンケート結果抜粋

●将来的な利用方法について

- ・常に住民が出入りできるような、人が集まる場（憩いの空間）
- ・子どもから高齢者まで、誰でも集まることができる場
- ・バリアフリー機能を備え、多くの方が利用できる場
- ・カフェやキャンプ、バーベキュー場
- ・地域の特産物や伝統を伝える場
- ・地域の方によるワークショップ
- ・子どもが学習できる場

おひろめ会のまとめ

- ・ 住民との関係性構築のきっかけができた。

⇒多くの方に来場いただき、企画をとおして対話をすることで、町と地元の関係性、又地元住民同士の関係性構築を図ることができた。今後も、繋がりが拡大していく方策を検討していく。

- 大人の来場は多かったが、子どもの来場が少なかった。

⇒ 来場者数の想定ができなかったため、周知方法を町ホームページ及び伊草地区へのチラシ配布のみとした。

今後、学校との連携も含めて、子どもの関わり方をさらに検討していく。

また、利活用にあたり関係者の確保が必須であるため、地元住民の関わり方を検討していく。

- 全体的に住民の反応は好印象であった。

⇒当日も大いに賑わい、アンケートにおいても良い回答が多かった。今後も住民の意見を参考にしながら、利活用に繋げていく。

- 地元事業者、東洋大学、町によるイベントとして、良い事例とすることができた。

⇒それぞれの立場で、イベントを企画・運営していくことで、単体だけではできないイベントとすることができた。今後も、多くの方が、古民家に関わる仕組みづくりを検討していく。